

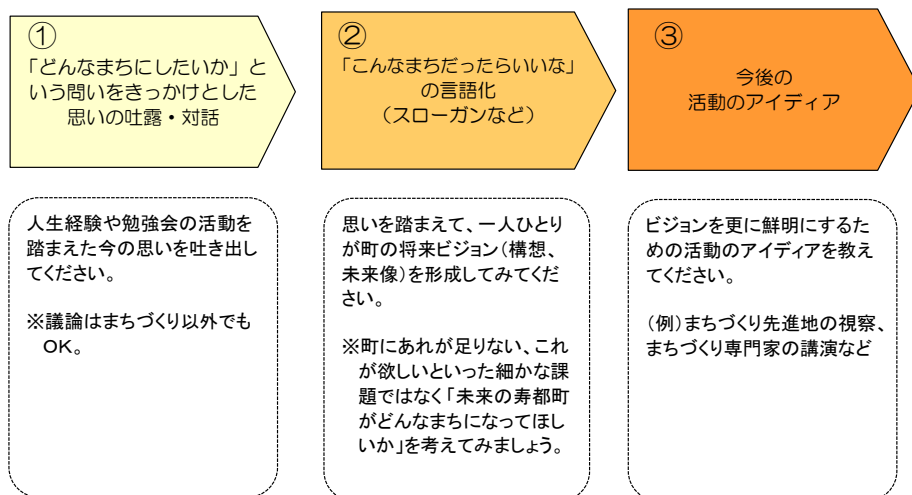
「寿都町の将来に向けた勉強会」（第12回勉強会）開催概要

1. 日 時 2022年10月19日（水）18:30～21:00
2. 場 所 寿都町総合文化センターウィズコム2F会議室
3. 出席者 【勉強会会員】：12名
【ファシリテーター】：北海道大学 竹田先生
4. タイムライン
＜勉強会＞
18:30～18:33 本日のアジェンダ説明
18:33～19:12 「寿都をどんなまちにしていきたいか」をテーマとした対話（前回の続き）
19:12～19:43 対話によって各々が抱いた寿都の将来ビジョンの発表
19:43～19:50 休憩
19:50～20:18 将来ビジョンを明確にするための活動アイデアについて対話
20:18～20:42 将来ビジョンを明確にするための活動アイデアの発表
20:42～20:50 「町民の会」発行のチラシについて（メンバーから発話）
20:50～21:00 次回以降のすすめ方ほか

5. 主な内容

（1）「寿都をどんなまちにしていきたいか」をテーマとした対話（前回の続き）

- ・ 前回議論を振り返ったうえで、前回欠席者や新参加者を中心に「対話のすすめ方イメージ」①を議論いただき、その後「対話のすすめ方イメージ」②③を議論いただいた。



（2）対話によって各々が抱いた寿都の将来ビジョンの発表

※前回欠席者、新メンバーを中心に発表

- ・ 産業種別ごとの就業割合を把握して、弱い分野を頑張るようになるべき。寿都は第三次産業に力を入れるべきではないか。「みんなが集まる町」になるとよい。そのためには給与水準のアップが必要ではないか。
- ・ 自営業の立場として、店が潤うには経済を生み出す必要があると思う。そのためには人口の増

加が必要であり、そうなった時に「人が入ってきやすい町、受け入れられる町」となると良い。

- たとえば「農業がやりたい」「漁業がやりたい」と思って寿都の外から町に入ってこようとしても、空き家があるのに不動産屋がいなくて、現状では意欲のある人たちを就業・居住につなぐ術がない。

また、将来を担うのは子どもたちなのに寿都は若い芽を摘んでしまっている気がしている。本日のような議論に子どもが加わっても良い。閉鎖的ではなく「あらゆる面でオープンな町」が良い。

- 医療、福祉、産業などのカテゴリーを超えてやる気のある人材を発掘し、今ある資源を有効に活用して外から人から呼び込めないか。「小さくてもキラリと光る町」を目指すべき。「寿都でなければ」「寿都だから」という視点が重要ではないか。
- 人口が増えないことには経済が回らない。自営業の立場としてもやっぱり人が多いほうがよい。人口を増やすには子どもや高齢者に対するサービスの充実が必要。たとえば週に数日でいいから診療所に専門医を配置するとか、ネットを使った買い物宅配サービスなど。「人にやさしい町」になるとよい。

(3) 将来ビジョンを明確にするための活動アイデアの発表

- 人口が増えて待機児童が増えている都市もある。道内で出生率が高くて人口増が見込める町の取組みが知りたい。
- 1次～3次、各産業を活性化させて人口を増やすためにどうすればよいか、専門家の話を聞きたい。加えてそれぞれの行政の取組や住民の自助努力も知りたい。
また、寿都町自身もこれまでどのように取り組んできたのか知りたい。
- 我々、現役世代以上は考えることをやめてしまっている面があり、町づくりのアイデアが浮かんでこない。将来を担う世代、子どもたちにアイデアを聞いてみたい。
- 町の代表である町会議員も一緒に考えるべきでは。
また、各町内でグループを作って議論するとか、各町内からこの勉強会に代表者が参加するなどの取組みも良いのではないか。
- 寿都町外から町に入ってくる人、いわゆる「よそ者」の意見、アイデア、先進的取組などをスムーズに引き出し、それを“翻訳”して住民に伝える取組みや仕組みづくり、人づくりが必要ではないか。もしかしたらその仕組みをこの勉強会が担っていけるのかもしれない。
- 未来に希望が持てて、新しい産業が生まれる町が良いと思っている。
例えばいま世界的に求められているカーボンオフという観点から、寿都町として水素事業に打って出てみてはどうかと考えている。福島県の浪江町だったか、水素関連の実証事業を展開しているようだ。
また、同町はロボット産業に関しても先進的な取り組みをしているように聞いている。この勉強会は地層処分事業に端を発した勉強会でもあるので、福島第一原子力発電所も含めて福島県の関連施設の視察がしてみたい。

(4) 「町民の会」発行のチラシについて

- メンバーから当該チラシの記載ぶり*について「NUMOからの回答は本当にそのような内容

だったか」との疑問が呈された。

※「町の将来に向けた勉強会」でNUMOから「水冷破碎岩は調べられているわけではない」との回答が得られた、の部分。

- ・聞き手による解釈の違いや記憶違い等の可能性もあるため、次回以降、改めて水冷破碎岩に関する説明の機会を設けることをNUMOからメンバーに提案し、了承を得た。

(5) 次回以降のすすめ方ほか

① 次回以降のすすめ方について

- ・本日メンバーから出た活動のアイデアについてサポーター（町・NUMO）で一旦預かったうえで整理し、次回、活動を具現化できる方策を提示する。そのうえで活動の優先順位や実施時期等について議論し具体化していく。

② 日本原燃(株)六ヶ所村施設等の視察について

- ・かねてより要望があった六ヶ所村の視察について、以下の2日程を提案。欠席者への聞き取りも行ったうえで全体集約し、実施に向け調整していくこととした。

①11/12(土)～13(日)、②11/16(水)～17(木)

- ・あわせて幌延深地層研究センターの追加視察についても提案（12/21(水)～22(木)）。希望者がいれば実施の方向で調整することとした。

③ 次回の日程について

- ・六ヶ所村の視察日程を考慮して、11/24（木）開催を提案し、メンバーの了承を得た。

以上

【写真】意見交換の様子



<10/9勉強会で出たキ-ワード>

- 産業種別別の割合が知りたい。
→ ex. 足利市の3次産業の割合が知りたい
- 商店が困っている助けてあげよう
★みんが集まる町 → 給与水準UP等
- 自営業減少、人口減少、高齢化
どうして経済が立ち上がらない?
別業(自営)を雇用する
雇った自営は愛知から出て行く
- ★活弁のある町
○経済が伸びる必要がある
→ 人の全体数が必要
- 首都の外から「〇〇ヤバイ」といふ人が出て不動産屋が困る。
空室、空室の心配
- 首都は若い者を呼んでしまっている。将来の当時は子どもが親世代の収入を継いでいる。
- 行政に村に丸投げ無関心な体
- ★閉鎖的すぎるこの問題。あちこち困る本邦の町が良
- 議会の傍聴、行政の人が限られている。ネットで見ると相対的に必要
- 町での子どものお年寄り参加率も他人のせい自分にも
- 医療・福祉産業が伸びていく。明確な技術が必要 → やり手がある人が必要
- 今更なる資源を有効に使う。使った外は人に呼ぶ必要
- ★小企業で伸びる町
- 首都で自営的、「首都外から」の人を呼ぶ?
- 人口が増えるのは在庫が回らない。
ex. 美濃市も人が増えるから増えている
- 人口増えるのは子どもが伸びる必要
ex. 美濃市も人が増えるから増えている
- 高齢者 買物の行動 → 不便で2つの商品を買って運ぶのは大変
★人にやさしい町
- 買物弱者への対応、コンビニで買物に不便なお年寄りが多い
- 買物弱者の救済方法 → 福祉サービス、使ったお金は来るとして返す仕組み

- 人口が増える特徴的な町、増える町、東川町?
→ 道内では東川町、高知人口増えている町、取組が知りたい
- 1次、2次、3次各産業活発化させていく。地産地消、人口を増やす
- 専門家を呼んで活用する。加えて行政の支援
- 人口が増える町の自営努力、どんな町、ヤリ手がある町、行政の支援、行政の支援、行政の支援
- 子育て世代の呼び込み、呼び込み、呼び込み
- アイティ人材の呼び込み、呼び込み、呼び込み → 行政の現役世代の呼び込み、呼び込み
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人
- 行政の代表者(役員)を一人、あるいは二人、三人、四人、五人、六人、七人、八人、九人、十人、十一人、十二人、十三人、十四人、十五人、十六人、十七人、十八人、十九人、二十人、二十一人、二十二人、二十三人、二十四人、二十五人、二十六人、二十七人、二十八人、二十九人、三十人、三十一人、三十二人、三十三人、三十四人、三十五人、三十六人、三十七人、三十八人、三十九人、四十人、四十一人、四十二人、四十三人、四十四人、四十五人、四十六人、四十七人、四十八人、四十九人、五十人、五十一人、五十二人、五十三人、五十四人、五十五人、五十六人、五十七人、五十八人、五十九人、六十人、六十一人、六十二人、六十三人、六十四人、六十五人、六十六人、六十七人、六十八人、六十九人、七十人、七十一人、七十二人、七十三人、七十四人、七十五人、七十六人、七十七人、七十八人、七十九人、八十人、八十一人、八十二人、八十三人、八十四人、八十五人、八十六人、八十七人、八十八人、八十九人、九十人、九十一人、九十二人、九十三人、九十四人、九十五人、九十六人、九十七人、九十八人、九十九人、百人

